

主との正面衝突の爲めに立ち上つた事を示すものであり、大衆の階級闘争化、左翼化を物語るものに外ならぬ。

### (9) 今後の見通し

以上の如き情勢は最近に變化するであらうか。否、金解禁は近く断行せられるであらう。そして、以上の諸現象は今後益々猛烈になるに相違なし。物價の下落、工場の閉鎖、減賃、賃銀値下、労働時間の延長その他の影響はむしろその時から始まるといつてもよい程である。

我々は今後の一年を右の如き情勢の中に闘はねばならぬであらう。

## 二、支配階級の政策

支配階級は右の如き一般情勢に直面して如何なる政策をもつて臨んでゐるか。それは誠に明白である。それは一言にしていへば産業の合理化政策である。即ち金解禁の爲めの準備、公債の整理、税制の改革、緊縮政策の遂行、金解禁の断行等々。及び軍備の整備。

殊に注意すべきは現内閣の緊縮政策の正體である。政府は豫算面に於ては僞購的にほんの僅ばかりの縮少を行はんとしてゐるが、事實彼等の示したる豫算案なるものはやはり十六

億の龐大なる軍事豫算であらざるを得ないではないか！ 然かも尙ほ彼等が「縮緊」を呼ぶのは、産業合理化——資本の攻勢——を緊縮の名によつてゴマカさんとする僞購策に過ぎない。

### (1) 僞購政策

勞農大衆の生活の窮乏化より起る反抗を抑止せんが爲めに支配階級は僞購政策を以て臨む。労働組合法、小作法、自作農創定案、等々を實現すると稱し或は實現する。或は又子供だましの失業救済策や米價の調節軍備縮少を吹聴する。

### (2) 自由の抑壓

一方、その僞購に乗らない者に對しては、その反抗の源泉としての言論、出版、集會、結社に對し相變らずの彈壓を以て臨み、××××××××逮捕監禁學生の放校等も決してその跡を絶たぬであらう。

## 三、無産階級戦線の状態

以上の如き支配階級の政策に對し徹底的に戦はねばならぬ使命を有つわが無産階級の陣營は現在、如何なる状態に置かれてゐるか。

一般大衆は生活の窮乏により不平不満に充ちてはゐるが、

何者と、如何にして戦へばよいかを知らないで未組織のまま、大衆的に残されてゐる。

組織せられた大衆も、左翼、中間、右翼、その他に四分五裂の状態にある。

### (1) 右翼

社會民衆黨によつて代表せられる右翼は、海運、軍需、金屬等の重要産業の大工場に根を持つてはゐるが、その組織は資本家階級と戦ふべく餘りに薄弱であり、その幹部は全くの議會主義と協調主義で固まつてゐるから、その政策は益々小ブルジョア的になり、労働者、農民の要求の爲めの無條件的な戦をなし得ず、事實、労働者は小ブルの選挙の踏臺にせられるだけであるから、當然の結果として次第に労働者の信頼を失ひつゝある。大阪の總同盟の分裂にその例を見る。

右翼は農民にその基礎を殆んど持つてゐない。

それは彼等の協調主義が、極度に窮乏し簡單明瞭なる利害關係の上に立つ農民の要求を僞購し得ざるが爲めである。かつての日本農民黨の潰滅はこの一證左に外ならぬ。

尙ほ注意すべきは、この右翼幹部は單に小ブルジョアの觀念に立脚するのみならず、帝國主義ブルジョアの無産階級内に於ける協力者として、社會帝國主義をふり廻し産業の合理化に協力しつゝあることである。

### (2) 中間派

日本大衆黨に依て代表せられる中間派は、本質上も實際上も右翼と何等の差異あるものでなく、殊に、紡績業に僅少な部分と北九州方面に若干根を持つてゐる以外は、労働者の基礎を殆ど持たず、農民に若干の基礎を持つのみで、その勢力は甚だ不振であつて、事實上何等の闘争も爲し得ざるに拘らず口に左翼的言辭を弄し、僅に左翼に對する彈壓の陰に生存を續けてゐるに過ぎない。而て其幹部には右翼に走らんとする傾向濃厚に存し、大衆の左翼化と相まつて、此の派は遠からざる將來に、潰滅か分裂かによりその姿を消すに至るであらう。

所謂「分裂反對同盟」派は大衆的でなく全く問題になり得ないその他、地方政黨もあるがその本質上當然、そのまゝでは強力な闘争體ではあり得ない。

その他、地方政黨もあるが、その本質上、當然、そのまゝでは、強力な闘争體ではあり得ない。

### (3) 左翼

(1) 農民組合——の主勢力は、全國農民組合に結成されて左翼の陣營にあり、その組織も比較的整備せられてはゐるが、内部に日本大衆黨系が介在して全國的統一が未だ不充足であるといはなければならぬ。然かも新潟、千葉等の例外